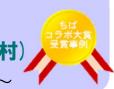
文化教育

連携事例16

Y (よつかいどう)・Y (よしおか)・ NOWSON (今どきの農村)

~ 地球にやさしい体験型農家生活のすゝめ



R5.8更新

■協働パートナーの種別



NPO

企業

行政

教育

地縁

■事業運営団体

Y - Y - NOWSON

■協働パートナー

☆四街道自然農倶楽部 ☆一村のアトリエ ☆よつグルメ研究会

☆東京情報大学

☆四街道市

事業の手法

☆事業協力

事業費

☆20万円

事業概要

四街道市は、東京のベットタウンとして開発された地域と古くからの農村地帯に分かれます。古村は農業従事者の高齢化等による耕作放棄地の増加や、生活環境の変化等により伝統文化行事の消滅危機といった地域の課題が存在しています。この事業は環境保全・地域団体等と連携し築 150 年以上の古民家、蔵、田畑、林等を活用し、食・農・文化芸術・里山遊び等様々な体験を通して里山保全意識の向上や世代や地域を超えた交流の場の提供といった事業を実施しています。

協働きでの経緯

四街道市吉岡地区に残る千葉の原風景、里山保全を各団体が「吉岡」をキーワードに連携を図ることで、それぞれの専門領域において本事業の効果を最大限高める活動を行うものです。

主な事業内容(年間スケジュール等)

【定例】

蔵の図書館開館 毎月第2・4日曜と翌月曜日

ツリーハウス開催 毎月第1・3日曜日

YY テラス(野外料理の会) 4~6月·10~12月第2火曜日

【イベント】

〇よつグルメ研究会と連携して野草や植樹した果実の加工講座を開催。 また「ばらっぱ饅頭」を作り、豊作を祈願する吉岡地区の伝統行事「稲虫送り」を実施。

- ○季節毎にそうめん流しやキャンプ講座、子ども向け工作教室などを開催。
- 〇日本画家田中一村ゆかりの家として、講演会を春と秋に開催して一村顕彰と文化芸術を発信。
- 〇年1回、様々な団体とコラボして「Y・Y秋まつり」を開催。福祉施設のマルシェも多数出店。

主な協働パートナーとの役割分担

- 〇Y・Y・NOWSON 集会所・製粉所・敷地等の、活動の場の提供、講座等の企画、団体関連絡調整。敷地内の『蔵の図書館』『ツリーハウス』の管理運営。
- 〇一村のアトリエ 千葉にゆかりの日本画家「田中一村」の顕彰及び千葉の原風景を守る啓蒙活動をし、県内外の100人を超す会員に、講演会の開催や展覧会の周知に努める。
- 〇よつグルメ研究会 各講座におけるランチ提供、伝統行事における「ばらっぱ饅頭」づくり。 四街道産の小麦を蔵で製粉し、敷地内の果物や野菜を使いケーキなどを作りイベント時に販売。
- ○東京情報大学 教員による講座。学生によるイベントの手伝い。
- 〇四街道自然農倶楽部 耕作放棄地の解消。環境に優しい農業の普及。
- 〇四街道市 広報支援、事業相談対応

位価事業によって生まれた成果

四街道・吉岡地区の認知度の向上。 市域を越えた幅広い層へ周知が図れたことによる 地域コミュニティの活性化。

今後力を入れていきたいこと

敷地内に新しく蔵を活用した蔵書3000冊を有す る「蔵の図書館」と、集いと憩いの場の「ツリーハウ ス」の活動の充実を図ります。

里山整備にかかる費用の捻出のために、年間を通し て1日一組限定のデイキャンプ、キャンプ場として貸 し出しをしている事の PR に力を入れます。

年代、地域を越えた人たち皆がワイワイと楽しみな がら農家生活体験、里山遊びを通してその魅力を知っ てもらい、里山保全に興味を持ち関わってくれる人た ちを増やしたいです。そのために企業等とも連携して魅┃★新しい団体との連携で幅広い層の参加を得られ 力あるイベントを企画実施して行きたいと思います。





コラボのコツ!!

連携する各団体の特徴を活かした講座・イベン トを実施するよう心がけました。

★講座等の学びの場に、よつグルメ研究会による ランチを提供し、気軽に参加できるようにしま した。提供する食事も地産、講座に因んだ文化を 伝えるものとし、何度参加しても新たな発見が 得られるよう配慮しました。

さらに、その先へとつながりが出来た。

★行政の補助制度を活用し、ハード整備を実施 して地区住民が気軽に立ち寄れる場づくりを 行いました。





連携事例プロフィール

【活動開始年】平成25年 【この事業で活用した補助金】 【表彰歴・マスコミ掲載歴等】

【活動の PR 手法】FB:Y・Y・NOWSON インスタ:y・y・countryside 四街道市:みんなで地域づくり事業補助金(H26~28)

①総務省ふるさとづくり大賞(H29)② 第 10 回協働まちづくり表彰 グランプリ (H30) ③千葉県: ちばコラボ大賞 (H28) ④ちばTV・

ケーブルT V 296·千葉日報

【問い合わせ先】担当者: 岡田はる美 電話番号: 043-432-0409 メールアドレス: isson@sweet.ocn.jp